



鯨岡 公一 代表監査委員

## 決算審査報告・審査意見

各会計の歳入歳出決算等は正確なものと認め、予算の執行についても、適正かつ効率的に行われていると認めました。

町の財政状況は、広野火力発電所の固定資産税の大規模償却資産分への依存度が依然として高い状況にあります。

財政力を示す指標である財政力指数は、1を超えるほど余裕財源を保有することとなりますが、令和3年度は、0.976となり、普通交付税が交付される交付団体となりました。令和4年度は、広野IGCC火力発電所に係る固定資産税の大規模償却資産分により、再び不交付団体となる見込みですが、逡減する税収であることを鑑み、町民のための優先事業等を見極め、さらなる財政の健全化を図る必要があると思います。

# 令和3年度 決算 事業の成果を認定



## 決算議会 9月定例会

令和4年第3回定例会を9月12日から16日までの会期で開きました。  
町から提出された、17の議案等を審議し、すべて原案のとおり可決しました。  
9月定例会は決算議会でもあり、令和3年度の一般会計及び特別会計の決算を認定しました。  
また、広野町議会基本条例に関する調査特別委員会より議案が提出され、条例の制定を可決しました。



林業専用道「柴橋・東黒森線」を整備

## 議会注目事業

未来のかけ橋にエレベーターを設置



ひろの未来館がオープン

## 令和3年度決算のあらまし

一般会計の歳入面では、前年度と比較して4億1,041万円増加しています。

町税は、町民税個人分・法人分及び固定資産税を合わせ、前年度と比較して約2億3,435万円(9.17%)減少し、令和3年度も震災復興特別交付税が約4億6,105万円交付されましたが、財政調整基金年度末残高は約4億7,652万円減少しました。

広野IGCC火力発電所に係る固定資産税大規模償却資産分による一時的な増収は見込めますが、その他の税収増は見込めない状況で、歳入財源の確保は厳しさを増すものと思われます。

町税及び使用料等の収入未済額については、不納欠損処理を行ったこともあり、前年度と比較して約1,290万円(18.98%)減少し、実質未納額は約5,510万円となっています。

歳出全体としては、前年度と比較して約3億7,973万円増加しており、要因は、衛生費並びに教育費の増加によるものです。比率が低いほど財政運営に弾力性がある経常収支比率は、90.0%で前年度と比較し、9.1ポイント増加しています。

また、国民健康保険や介護保険特別会計の給付費は、高い水準で推移しています。引き続き、適正医療による重症化防止等による歳出の削減が求められます。